

# 竹島をめぐる問題



1

## 我が国の立場

●竹島は、歴史的事実に照らしても国際法上も明らかに日本の固有の領土であるという日本の立場は一貫しており、冷静に粘り強く対応していく。

2

## 竹島をめぐる主な動き

- ◆2012年8月10日、李明博前大統領が竹島に上陸。これに対し、我が国政府は直ちに強い遺憾の意と厳重な抗議を実施。
- ◆政府は、同年8月21日、韓国政府に、竹島問題について、国際法に則り、冷静、公正かつ平和的に紛争を解決することを目指して、国際司法裁判所への提訴としての合意付託及び日韓紛争解決交換公文に基づく調整を提案。同月30日、韓国政府はこの提案を拒否。
- ◆同年8月21日、竹島の領土問題に関する関係閣僚会合を開催し、①国際法に則った紛争の平和的解決のための周到な準備と②我が国の立場についての対外発信の強化、③今後の政府の体制の強化についての検討も早急に実施すること。また、④民間分野において、竹島問題等の調査・研究、国民世論の啓発のための活動を支援するための取組を調整すること等を確認。
- ◆2013年2月5日、我が国の領土・主権に関する国民世論の啓発等に係る企画及び立案並びに総合調整を行うため、内閣官房に「領土・主権対策企画調整室」を設置。

3

## その他最近の動き

- ◆韓国政府は、竹島での防波堤や入島支援センター等の建設事業を推進させる計画。
- ◆2014年1月、慶尚北道知事が竹島に上陸し、声明を発表。
- ◆2016年4月、韓国政府と民間による竹島教育強化のための協力委員会を発足。
- ◆2016年7月、文在寅(ムンジェイン)「共に民主党」(野党)前代表が竹島に上陸。
- ◆2016年8月、羅卿瑗(ナギョンワン)議員他複数の国会議員が竹島に上陸。
- ◆2016年9月、西島住民宿所の既設のクレーンを最新型に交代、設置。  
→ 我が方政府から強く抗議を実施。